

富士通 SPARC Enterprise M3000  
Oracle Solaris 11.1 における  
「TapeTRAN2 for UNIX」

動作検証報告書

---

2013 年 07 月 16 日

株式会社ユニテックス

ソフトウェア開発部

文書番号 : UNT-00180-2

Rev	更新日	変更概要
A	2013年06月18日	・新規作成
B	2013年07月16日	・表記を「Solaris 11」から「Oracle Solaris 11.1」に変更。

## 1 概要

---

富士通 SPARC Enterprise M3000、Oracle Solaris 11.1 環境において、データ変換ソフトウェア TapeTRAN2 for UNIX (以下 TapeTRAN2) が正常に動作することを確認する。

## 2 検証場所

---

株式会社ユニテックス 町田事業所 2F

## 3 検証期間

---

2013年05月21日～05月28日

## 4 検証環境

---

### 【使用サーバー】

表1 使用サーバー

コンピュータ	SPARC Enterprise M3000
CPU	SPARC64-VII 2.52GHz
メモリ	32GB
OS	Oracle Solaris 11.1
SCSI HBA	SE0X7SC2F

### 【使用製品】

表2 使用製品

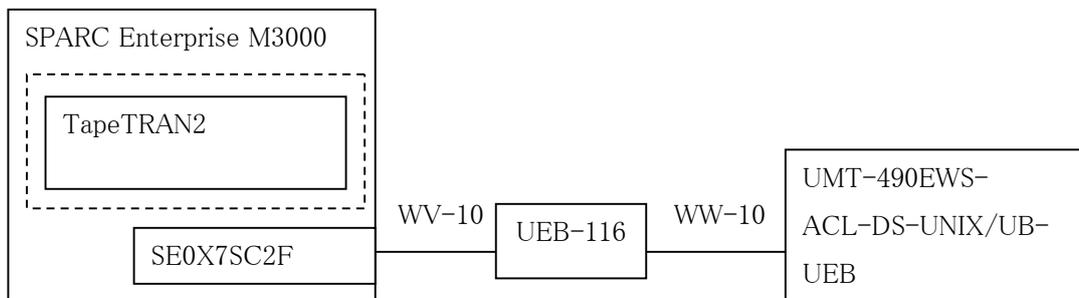
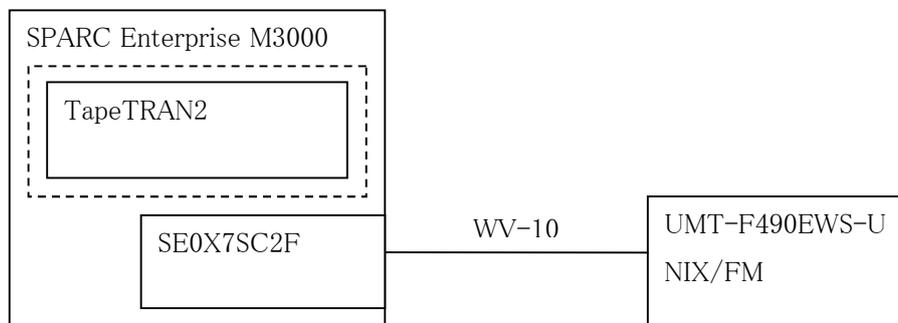
型名	構成品	
	分類	名称
UMT-F490EWS-UNIX/FM	CMT 装置	UMT-F490E
UMT-490EWS- ACL-DS-UNIX/UB-UEB	CMT 装置	UMT-490E-ACL-DS/UB
	SE/HVD コンバータ	UEB-116
	SCSI ケーブル	WW-10
TapeTRAN2	ソフトウェア本体	TapeTRAN2 for UNIX ver. 2.10.0
WV-10	SCSI ケーブル	WV-10

【使用メディア】

表 3 使用メディア

メーカー	メディア種	容量	圧縮時容量	型番
Graham	CMT	200MB	600MB	EPOCH MTC
FUJIFILM	CMT	800MB	2.4GB	CCT 3490E

【構成図】



## 5 検証内容

---

TapeTRAN2 にて以下の検証を行う。

- ・ソフトウェアインストール
- ・ライセンス確認処理
- ・変換処理
- ・テープ I/O
- ・EasyTRAN の起動
- ・EasyTRAN を用いた変換処理
- ・EasyTRAN を用いたテープ I/O

## 6 検証結果

---

富士通 SPARC Enterprise M3000、Oracle Solaris 11.1 環境において、TapeTRAN2 は正常に動作した。

- |                       |    |
|-----------------------|----|
| ・ソフトウェアインストール         | 正常 |
| ・ライセンス確認処理            | 正常 |
| ・変換処理                 | 正常 |
| ・テープ I/O              | 正常 |
| ・EasyTRAN の起動         | 正常 |
| ・EasyTRAN を用いた変換処理    | 正常 |
| ・EasyTRAN を用いたテープ I/O | 正常 |

## 7 結論

---

富士通 SPARC Enterprise M3000、Oracle Solaris 11.1 環境において、TapeTRAN2 は正常に動作する。

## 8 お問い合わせ先

---

株式会社ユニテックス

Tel : 042-710-4630

Fax : 042-710-4660

E-Mail : [sales@unitex.co.jp](mailto:sales@unitex.co.jp)

Web サイト : [www.unitex.co.jp](http://www.unitex.co.jp)

—以上—